

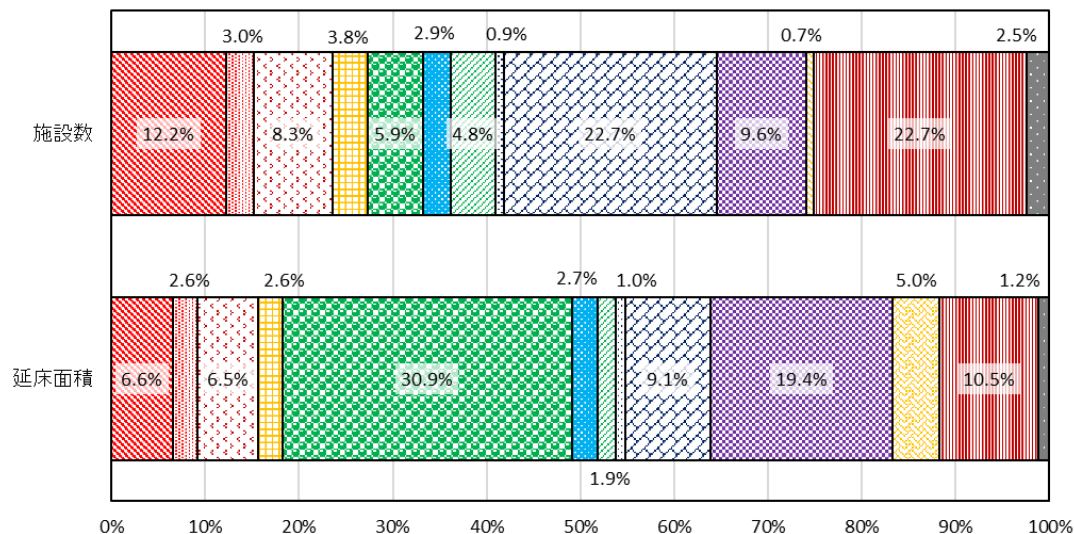
1 公共施設を取り巻く状況について

1 公共施設を取り巻く状況について

- ① 施設数、総延床面積の状況
- ② 将来推計人口
- ③ 建築年度ごとの面積推移
- ④ 改修・更新に必要な費用の推計
- ⑤ 施設の利用率の状況

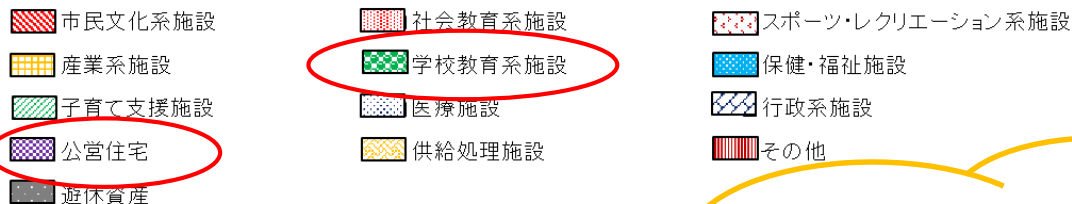
① 施設数、総延床面積の状況

施設類型別の施設数・延床面積の割合（R5.4.1現在）



岩国市の公共施設は
1,090施設

総延床面積は
約75万㎡



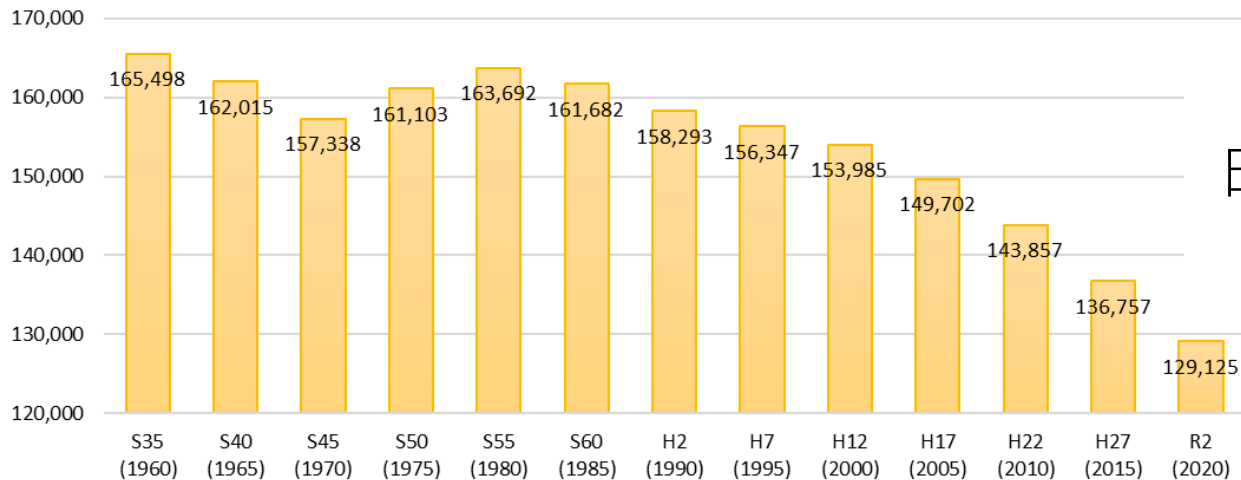
出典：令和5年度岩国市公共施設白書

市民一人当たりの床面積※は5.78㎡
全国平均3.84㎡の1.5倍、
人口や産業構造が類似する団体の
平均3.01㎡の1.9倍

※一人当たり床面積は、公共施設状況調査（令和3年度）と
住民基本台帳に基づく人口（令和4年1月1日現在）いずれも総務省調 から算出

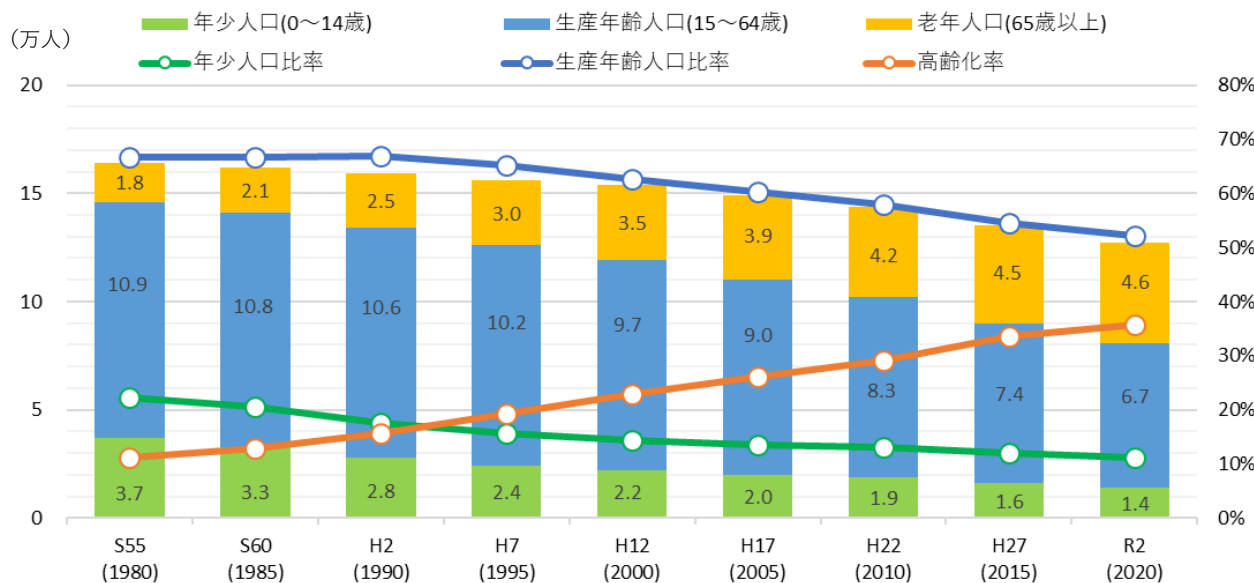
② 将来人口推計

総人口の推移



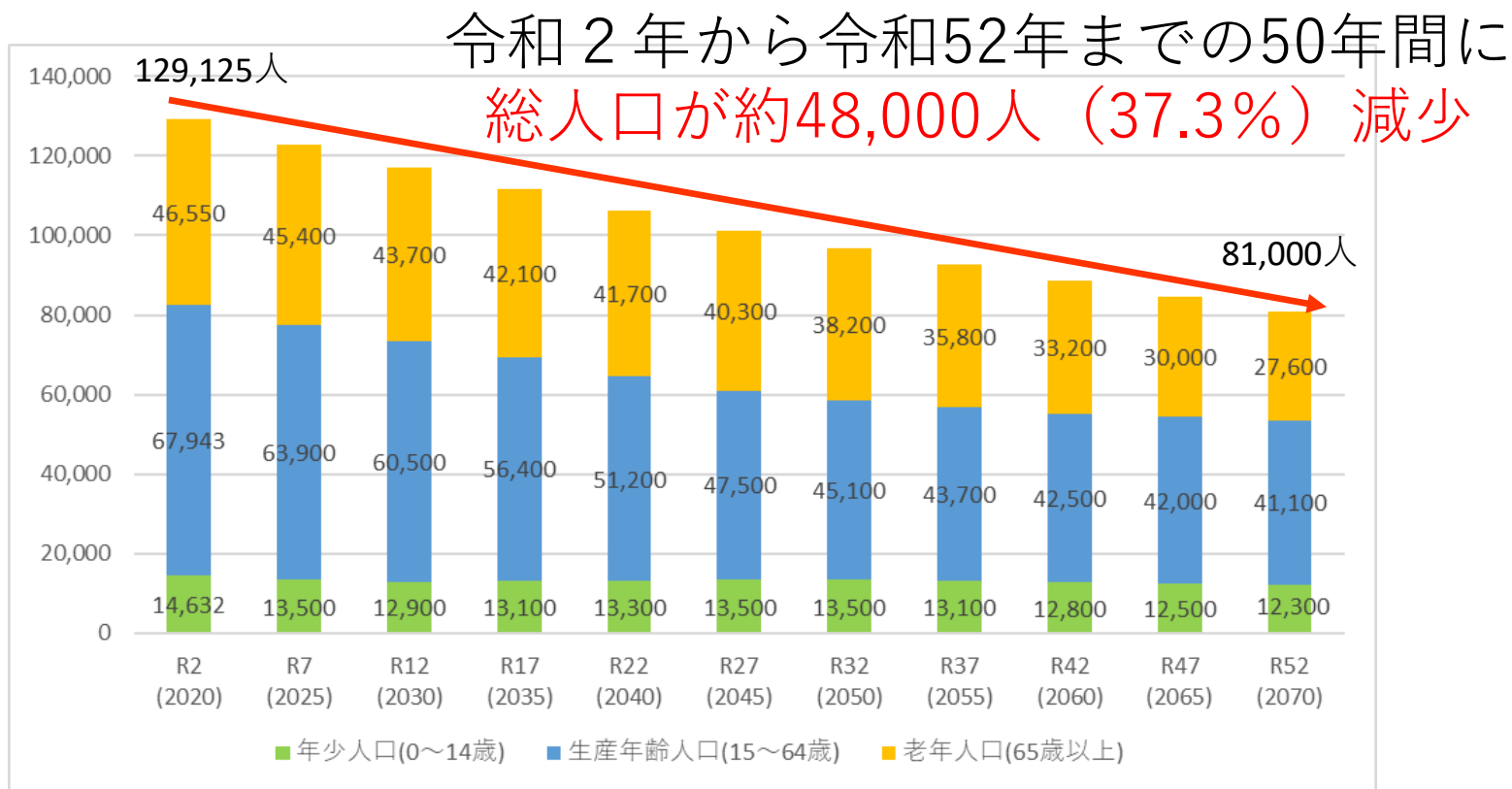
総人口は
昭和55年をピークに
年々減少

年齢三区分別人口の推移



高齢化率
⇒増加
年少人口比率
⇒減少
生産年齢人口比率
⇒減少

② 将来人口推計



岩国市人口ビジョン（R5.3月）市民希望出生率と若者の定住に関する希望が実現した場合の人口推計をグラフ化

人口減少⇒施設利用者の減少

年齢構成や生活スタイルの変化⇒施設のニーズの変化

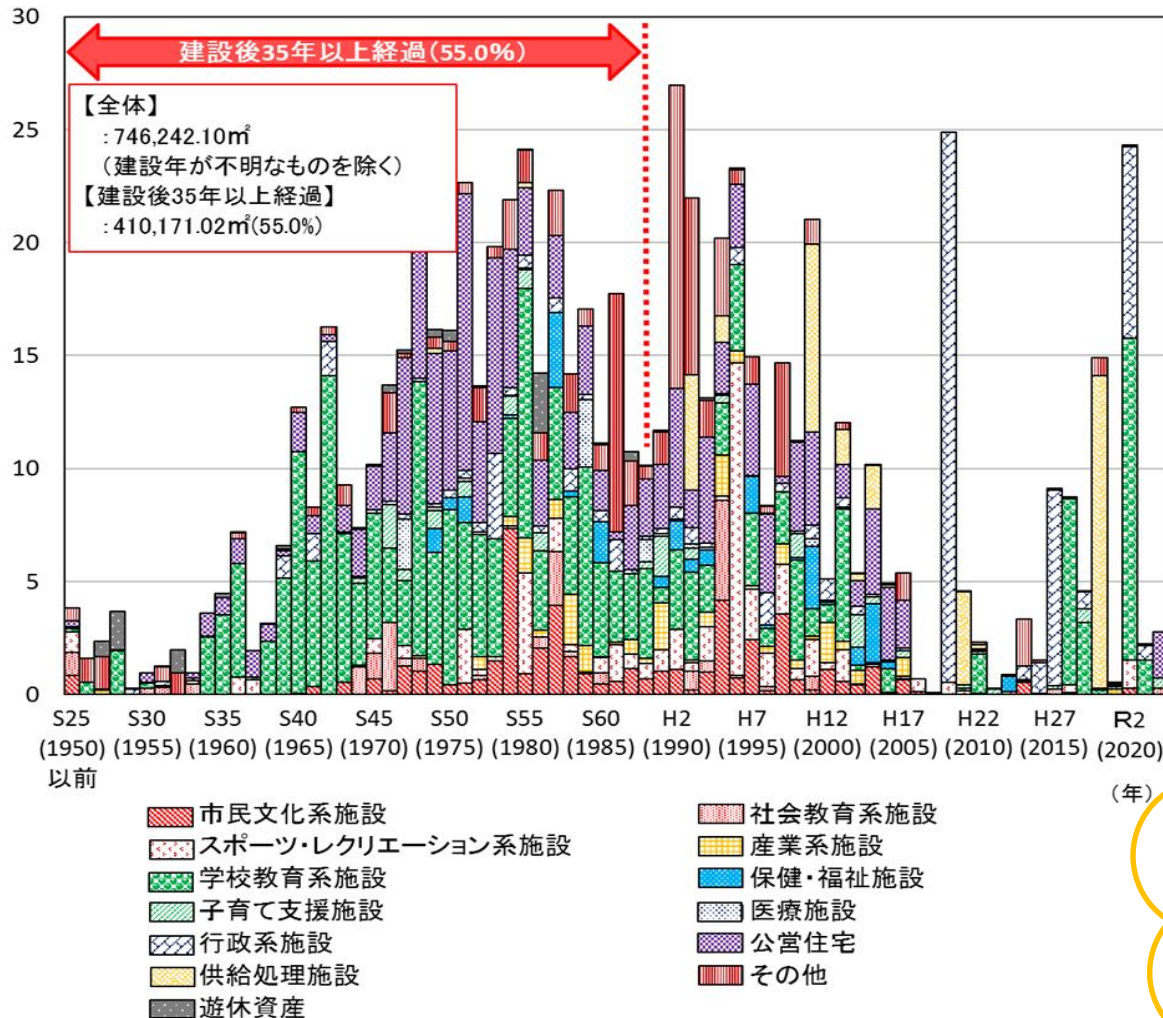
生産年齢人口の減少⇒税収等の減少

高齢化等⇒社会保障関係費の増加

③ 建築年度ごとの面積分布

建設年度別に見た施設類型別延床面積（R5.4.1現在）

延床面積(千㎡)



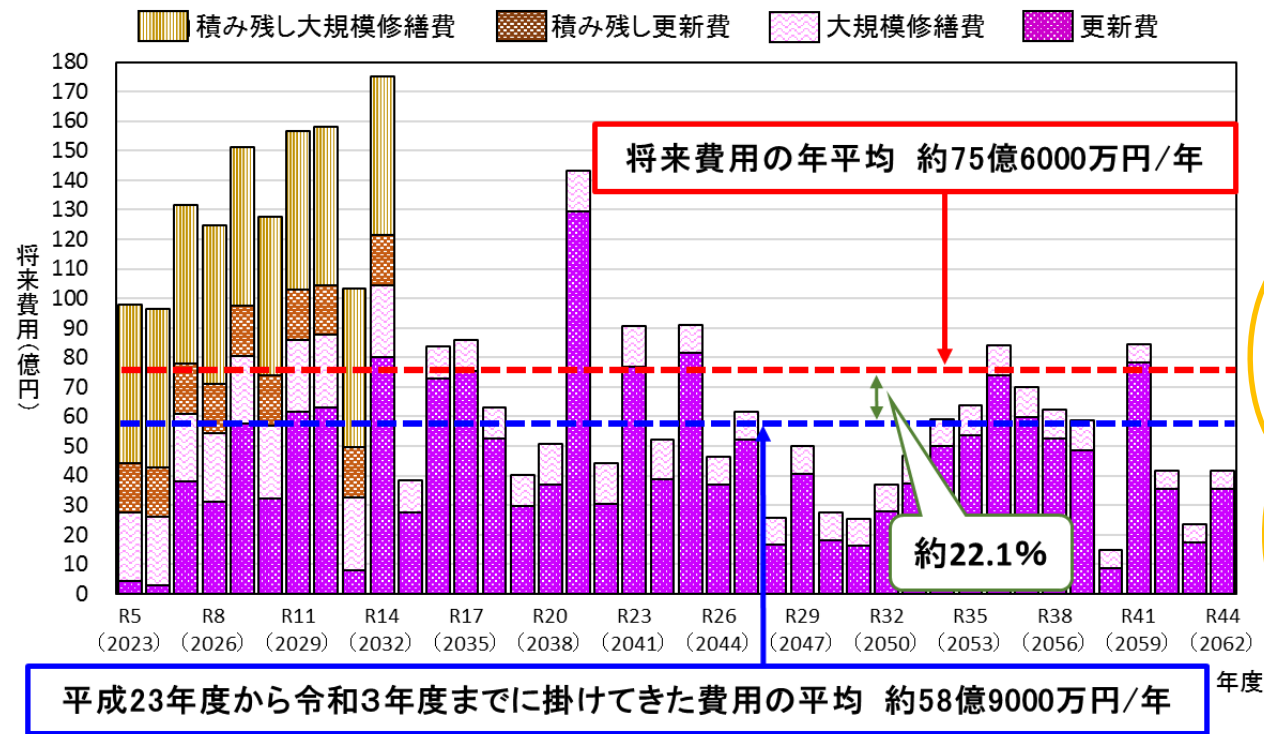
建築後35年以上の
施設が55%

多くの施設が
老朽化

昭和40年代から50年代までに施設整備が進んでいる。⇒今後、改修や建て替えなどが集中し、多額の財政負担が予想される。

④ 改修・更新に必要な費用の推計

大規模修繕及び更新に係る将来費用



税収等の減少、
 社会保障関係費
 の増加等が見込
 まれ、厳しい財
 政状況⇒今後も
 これまでと同じ
 ように公共施設
 に費用を掛ける
 ことが難しくな
 る。

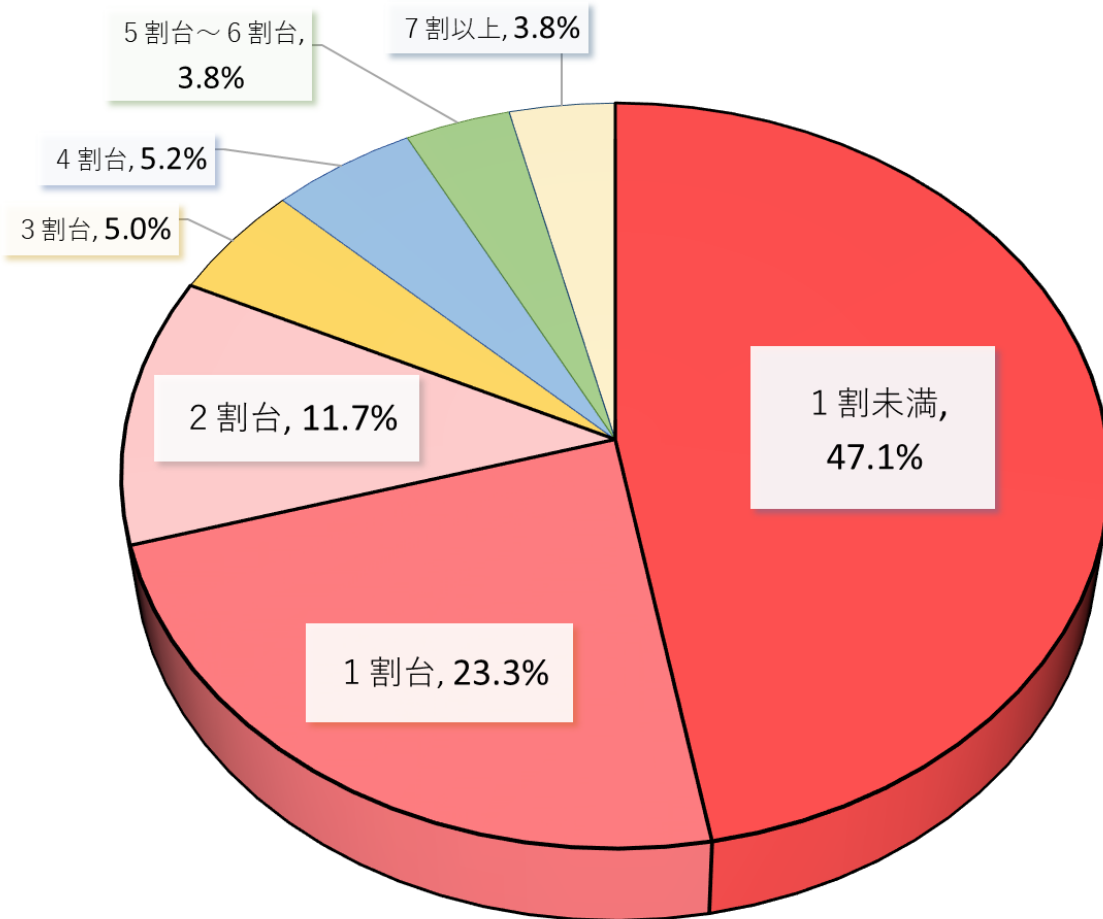
出典：岩国市公共施設等総合管理計画

現状を維持したまま更新等を実施した場合、
 過去の平均と比較して年平均で約16億7,000万円増加する。

※岩国市公共施設等総合管理計画改定時 (R5.3)

⑤ 施設の利用率の状況

貸室・貸しスペースの稼働率



82.1%の
貸室・貸しスペースが
稼働率 3 割未満

スペースを十分に
使い切れておらず、
効率的な施設運営
になっていない。

令和5年度岩国市公共施設白書の貸室・貸しスペースの稼働率データをグラフ化
※対象：稼働率0の貸室等を除いた420室

1 公共施設を取り巻く状況について

●課題の整理

今後、人口減少や少子高齢化が進み、これに伴い、財政状況も厳しくなることが予想される中、施設の老朽化や市民ニーズの変化などの課題に対応していく必要がある。



公共施設の「量」と「質」の最適化が必要